

## 令和4年度第2回相楽東部広域連合総合教育会議 会議録

1 日 時 令和5年3月14日（火）午後1時30分～3時00分

2 場 所 和束町体験交流センター 会議室

3 出席者 広域連合長 堀 忠雄  
副広域連合長 中 淳志  
副広域連合長 平沼 和彦  
教育長 岡田 善行  
教育委員（教育長職務代理者）石橋 常男  
教育委員 村田 年宏  
教育委員 上村 恵子

4 欠席者 教育委員 鈴木 慶一

5 傍聴人 なし

### 6 議 事

#### (1) 開会

司 会 小森事務局長

#### (2) 広域連合長あいさつ

堀 広域連合長

相楽東部広域連合総合教育会議設置要綱第4条に基づき、広域連合長が会議の議長として以下の議事について進行を行った。

#### (3) 「教育に関する大綱について」

教育長から、資料に基づき、教育に関する「大綱」の改定趣旨、内容等について、説明を行った。

質疑等の結果、大綱案について、異議なく承認された。

#### <主な質疑・意見交換>

##### ○副連合長

岡田教育長が就任され、「連携」を重視されていることはよく理解できるが、小中の連携など、具体的にどのような部分を連携しようとしているのか。

##### ○教育長

中1ギャップというのがあり、小学校から中学校へ行くと急に勉強等が難しくなり不登校になりやすくなる。今までからイベント等での連携はしてきたが、小学校と同じような感覚を中学校でも持てるよう、カリキュラムまで連携していけるよう考えている。

○副連合長

中学校の授業を「予習」するような形で、連携が出来れば良いと思う。

○連合長

連合管内で共通するのは、基幹産業や自然に恵まれている点。豊かな自然の中で育っていく素晴らしさを感じていこうと謳われており、「連合ならではの教育」の良さを出していこうとするのに苦労いただいている。

ただ、結婚と同時に転出する実態が変わらず、行政に関わっている者として、故郷の誇りはここだというようなものを期待したい。

○副連合長

小規模校にもメリットとデメリットがある。そのデメリットをどう埋めるのか、その一つが小中連携や小中連携だと思う。

○教育長

これまでは、ふるさとを誇りに思うことがキーワードだったが、次は自分の住む町への「貢献」だと考える。大人になったときに外に出てしまえば貢献にならず、あなたたちが自分たちの町を何とかしないと、という点を徹底していきたい。

また、人数が少ないので、競争して誰かが良くなるという発想ではなく、みんなで助け合って全員が賢くなろうという方向で進めていきたい。

#### (4) 令和5年度「連合の教育」の重点について

教育長から、資料2に基づき説明があり、意見交換を行った。

#### <主な質疑・意見交換>

○副連合長

小学校低学年の教育はすごく大事。関心をいろんなところに伸ばし、また先生も一緒に勉強して伸びて行ける、そのような環境づくりが小規模校ならできる。

○連合長

連合管内には小学校が3つあり、教職員の異動があっても、連合の中で経験された、ならではの教育が皆で出来る。組織として連合があるのは、そのような利点もある。

○副連合長

そういう教育をやっていることや魅力を対外的にアピールする必要がある。ある議員が教育のレベルが上がれば、土地が上がると言っていた。働く場所など、移住には他の要因もあるが、他の事例からみても、移住を希望する者にとって教育は重視していると思う。

○教育長

非認知という、幼少期の時にその力をつけると、知識量が少なかったとしても、本気で勉強しようと思ったときに目標に向かって必死になって取り組める。小さいときの興味・関心などそういう力が必要であり、だからこそ保育・幼児教育は視野に入れたいといけない。

○教育委員

タブレット学習について、授業中、児童生徒がタブレットの世界に入ってしまう、教師の顔を見ず、教師の気持ちが伝わらない。表情や生徒たちの対応、しぐさで教育をしているのに、どうしようか戸惑っているのがやり始めた教師たちの悩み。

○副連合長

タブレットとアナログ、両方の授業を組んでいけば、多少変わっていくのではないかな。

○教育委員

授業のうまい先生が評判になり見学させてもらったことがあったが、表情と身振り、つまり惹きつけ方だと思う。3年経てば、やり方や配分がわかっていくと思うが、今は全国の先生が試行錯誤されている。

○教育長

タブレットは持ち帰ることができるので、家庭で好きに使うことによりスキルが上がる。どこでタブレットを使うのかといえば家であり、学校では子どもたちが意見するような授業にしたい。学校でタブレットの説明をしているようでは3年では終わらない。

○教育委員

今の中学生にすれば、高校受験が結局はペーパー試験。タブレットで様々なスキルを磨いても、現実の関門をくぐるときにどうするのが課題。

○教育委員

教育の原点は人徳形成だと思う。そこには地域との関わりをどう考えていくかが大事で、その部分と教育の中味との連携が重要になる。「地域の子どもを育てる」観点を広域連合の中でやっていくことが大事と思う。

○教育委員

大きい子が小さい子を見ると、社会性が育つ。大きい子が小さい子の面倒を見るということが自信につながり、消極的な子が積極的になった。学年をまたいだ縦割り教育は必要と考える。

○教育長

幼児教育の中には学校教育の要素が多く入っている。今遊んでいるのが小学校のここにつながるということを理解しながらその子の様子を見るなど、「流れ」があることが本当の連携かと思う。そういう「つなぎ」をしていくことが必要である。